

わかさ 議会だより

緑と清流のまち

第157号
平成28年
8月号
WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

グラウンドゴルフで友好交流

平昌郡議会と八幡広場でグラウンドゴルフ



- | | |
|--------|-------------------|
| P2～3 | 6月定例会 主な事業 |
| P4～5 | 審議結果 |
| P5 | 平昌郡議会来町 |
| P6～10 | 一般質問Q&A |
| P11 | 議会報告会日程 |
| P12～13 | 議会基本条例の検証結果 |
| P14～15 | 委員会報告 |
| P16 | わたしの想い(神谷さん、阿部さん) |

住宅」更なる充実へ



若者向け住宅整備事業

赤松団地に若者向け住宅2棟建設

3200万円

6月定例会を、6月20日から6月23日まで開かれました。

一般会計予算は7276万円の増額で、補正後の総額は39億8447万円となりました。主な事業は、「若者向け住宅整備事業」などがあります。

議案16件（内、専決処分の承認について9件）、陳情3件、議員提出議案3件、その他3件を審議しました。審議の結果は、4～5ページをご覧ください。



わかさ29工房改修工事

建具・洗い場外壁・荷吊場屋根新設

201万円



がんばる農家プラン事業

「農事法人組合糸白見」の糶摺機・乾燥機などの施設整備

215万円

6月定例会

一般会計
7276万円の
増額補正

「若者向け



グラウンドゴルフを楽しむ高齢者

臨時福祉給付金

臨時福祉給付金 1人につき3,000円
障害・遺族年金受給者向け給付金 1人につき30,000円

435万円

主
事



更新される小型動力ポンプ

非常備消防事業

巻米自警団消防小型動力ポンプ更新

159万円



バンガロー

キャンプ場等管理事業

バンガロー屋根修繕と草刈り機の購入

185万円

6月定例会

一目でわかる 審議結果

全会一致の議案

専決処分の承認	平成27年度若桜町一般会計補正予算（第5号） 4904万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ36億4416万円とした。	承認
	平成27年度若桜町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号） 486万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億7150万円とした。	承認
	平成27年度若桜町赤松団地造成事業特別会計補正予算（第1号） 390万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、331万円とした。	承認
	平成27年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第2号） 852万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、5326万円とした。	承認
	若桜町税条例の一部改正について 地方税法等の一部を改正する等の法律が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	承認
	若桜町国民健康保険税条例の一部改正について 地方税法施行令の改正が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。	承認
	若桜町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について 行政不服審査法の施行に伴い、所要の規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。	承認
	平成28年度若桜町一般会計補正予算（第1号） 172万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、39億1172万円とした。	承認
	平成28年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第1号） 1303万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、4925万円とした。	承認
補正予算	平成28年度若桜町一般会計補正予算（第2号） 7276万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、39億8447万円とした。	可決
	平成28年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 102万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、5億1902万円とした。	可決
	平成28年度若桜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号） 2070万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、6億2420万円とした。	可決
	平成28年度若桜町後期高齢者特別会計補正予算（第1号） 5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、5421万円とした。	可決
	平成28年度若桜町赤松団地造成事業特別会計補正予算（第1号） 326万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、705万円とした。	可決
	平成28年度若桜町索道事業特別会計補正予算（第2号） 248万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、5123万円とした。	可決
条例	若桜町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について 若桜町営住宅の建替に伴い、管理戸数等の変更を行うもの。	可決
その他	鳥取市と若桜町との鳥取クレー射撃場の運営に関する事務の委託に関する協議について 鳥取市と若桜町との鳥取クレー射撃場の運営に関する事務の委託に関する規定について、協議するもの。	可決
	若桜町固定資産評価審査委員会の委員の選任について 若桜町固定資産評価審査委員会委員の選任にあたり、同意を求めるもの。	同意
	若桜町固定資産評価員の選任について 若桜町固定資産評価員の選任にあたり、同意を求めるもの。	同意

陳 情	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の陳情書	委員会審査結果 採 択	採択
	子どもたちの教育環境改善、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるためのもの。		
	地方財政の充実・強化を求める陳情書	委員会審査結果 採 択	採択
議 案 提 出	社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すため。		
	保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める陳情書	委員会審査結果 採 択	採択
	保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求めるもの。		
議 案 提 出	地方財政の充実・強化を求める意見書		可決
	保育士の処遇改善並びに職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める意見書		可決
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書		可決

平昌郡 議会

議会交流で来町

4月20日（水）に韓国平昌郡議会議員一行が議会交流のため、来町されました。

懇談会は、両郡町の議長のあいさつで始まり、贈り物交換では、両郡町がグラウンドゴルフで交流が出来るようにとグラウンドゴルフセットを贈りました。

その後、ルール説明を兼ねて、グラウンドゴルフ交流を行いました。



懇談会



平昌冬季オリンピックの横断幕を掲げ記念撮影



贈り物交換（グラウンドゴルフセット）



八幡広場でのグラウンドゴルフ交流

詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

6月議会定例会の一般質問は、6月21日に行われ、5人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長の答弁は、質問した議員が要約して掲載しています。



質問者

山根 政彦 議員
青木 一憲 議員
中尾 理明 議員
岡田 一弥 議員
山本 晴隆 議員

防災対策

住民と一体で、
災害に強いまちづくりを
住民と協力し、防災体制の
充実を図る



山根 政彦 議員

Q 行政と住民が一体となつて災害に強いまちづくりを推進していくため、各集落に自主防災組織の結成を推進されていますが、現在の状況を伺います。

小林昌司町長

A 現在、組織率は39集落の内54%です。組織化が進まない要因は、高齢化によることが考

えられますが、今後機会を捉えて各集落に出向き、住民の防災意識の高揚を図りながら防災訓練、防災マップづくりなどを通じて自主防災組織を結成していただけるよう進めたいと思っています。

Q 今年度より、消防防災専門員が2名となり体制強化をされたが、どのように防災対策を進めていかれるのか伺います。

小林町長

A 自主防災組織の結成、既存の自主防災組織の充実及び強化とともに、防災訓練や防災講習会を通じて災害に

強いまちづくりを進めていくために、住民の皆様との防災意識の啓発を図っていききたいと考えています。

Q 本町には200ヶ所以上の土砂災害警戒地域、土砂災害特別警戒地域がありますが、今後の防災対策は、県を含めてどのようにされるのか伺います。

小林町長

A 落石、法面崩壊等の情報を県にその都度連絡しています。また、砂防ダム等の設置が必要な箇所については、砂防堰堤などの災害防止工事の要望活動を行っています。

Q 災害で交通網の寸断などが起こった場合に備え、防災資機材などを、いくつかの集落に分散することが必要ではないかと思うが、

考えを伺います。

小林町長

A 県でも熊本地震の教訓を踏まえ、防災備蓄品の保管場所の見直しも行われる。今後、保管場所を何処にどのような物資をどの程度保管するのが効果的なのか、県の見直しを踏まえ、住民の皆様の意見を伺って検討したいと思っています。



若桜町防災備蓄倉庫

Q 第9次若桜町総合計画にある災害時の相互応援を円滑に遂行するため、兵庫県多可町をはじめ、関係機関や団体等と災害時相互応援協定を締結すると計画をされているが、現在の状況を伺います。

小林町長

A 現在、県内の琴浦町と、県外では兵庫県宍粟市、また兵庫県多可町とも協定を締結しており、これに福井県の若狭町も加わって3町で協定を締結となります。その他、各災害にに応じて多くの民間団体と協定を締結しています。

△その他、観光戦略についても質問をしました。▽

Q 一般質問 A



青木 一憲 議員

総合戦略

**3Dプロジェクションマッ
ピングの第2弾は
高額であり費用対効果も
考え検討**

Q 3Dプロジェク
ションマッピングの、
第2弾をされる計画は
ないでしょうか。

A 小川昌司町長
次回の開催を、要
望される声も聞いてい
るが、高額であり費用
対効果も考え、また、
東部圏域の観光振興に
寄与したかを踏まえ、
検討をする。

Q 花火大会の前に上
映したり、何かのイベ
ントと兼ねて、開催し
てはと思います。また、
入場料を徴収してはと
思いますが、町長の所
見をお尋ねします。



プロジェクションマッピングの様子

A 小川町長
いろいろな団体と
一緒になってやること
は、非常に大切なこと
だと思っています。また、
報道等と一緒に巻き込
んで仕事をしていきた
いと思います。

**駅周辺の整備は
時間をかけて検討**

Q 総合戦略の中に、
鉄道公園の整備・駅周
辺活性化の促進・鉄道
ジオラマ設備の整備と
ありますが、動きが見
えません。現在どのよ
うに取り組んでいるの
か、お尋ねします。

A 小川町長
鉄道公園の整備や
周辺整備などの施設整
備は、相当な投資が必
要となります。埋立て
にも相当な年数を要し、
今後時間をかけて検討

したいと思います。



駅裏周辺

**合宿の町にしては
交流人口を増す1
つのツールとして**

Q 若桜に行けば何か
のスポーツ教室、合宿
をしているとなれば交
流人口も増加し、経済
効果も生まれると思っ
ます。氷太くんはもち
ろんですが、寄宿舍・
寄来屋など合宿所とし
て活用してはと思いま
す。町長の所見をお伺
いします。

A 小川町長
多くの学生が、若
桜を訪れば、町も
賑わい経済効果も間違
いなく生まれます。氷
ノ山の施設だけでなく、
町の体育施設を有効活
用すれば、団体競技で
も合同合宿として誘致
することができ、氷ノ
山の宿泊施設も、フル
活用できる。また、宿
泊の少ない秋には、小
中学生を対象に取り組
むこともできる。

A 高木政寛教育長
総合スポーツクラ
ブ・体育協会・スポー
ツ少年団等とも協議を
重ねさせていきたい。
交流人口を増す1つの
ツールとして考えたい
と思います。

質問 A



中尾 理明 議員

国保税の軽減提案

国の財政支援を利用し、
国保税の軽減を

国保財政厳しく、軽減は
困難。税は据え置きで

Q 政府は国民健康保険の低所得者の多い保険者対策として、市町村に対し1,700億円の財政支援をしたと聞きましたが、若桜町にはどのように配分されましたか。

小林昌司町長

【A】 国民健康保険の低所得者対策として、所得に応じ、7割、5割、2割の軽減制度があり

ます。この軽減に対し、国・県による四分の三の財政支援があります。その中の保険者支援事業分に対して、これまで支援がなかった2割軽減も対象となり、7割、5割軽減も支援割合が引き上げられました。財政支援額は、総額254万円余り、被保険者1人当たり2,902円の増額となりました。

Q 27年度の決算は終わったとのことですが、この支援金の使い道として、年金の支給低下抑制、消費税8%増税後の営業不振と現下の経済状況の悪化により、町民生活は大変な中で、税を軽減することによ

る納税意欲の向上と生活支援を目的とした国保税の引き下げに活用すべきであると考えます。27年度としては決算への意見ですが、28年度については国保税軽減に使うべきではありませんか。

小林町長

【A】国保会計27年度の決算は、基金を800万円取り崩した上、財源不足分を一般会計から約1,000万円を繰入れており、単年度では1,773万円余りの赤字となっています。このような中で、本年度国保税の税率について、国民健康保険運営協議会に諮問した結果、国保財政運営に支障があり、健全と言えないが、景気低迷の状況下で負担増加を求めることは、町民の生活に深刻な影響を及ぼす恐れがあるとされ、

税率据え置きの方申を
いただいています。財
源不足が生じている現
状では税率の引き下げ
は困難です。

マイナンバー問題

プライバシー侵害等町民周知を
IP告知等広報
と講演会も開催

Q マイナンバーは国民1人1人の個人情報
を国・自治体が管理統
制するものと考えま
す。健康情報利用の
他、今後免許証、NH
K受診料の徴収等の利
用が予測されています
125万件もの年金情
報の流出等後を絶たず、
プライバシー侵害、悪
用事件を招きかねませ
ん。町長の所見を伺い
ます。

小林町長

【A】 この制度により、添付書類が不要となるなど各種手続きの簡略

化が可能となります。一方、個人情報流出が懸念されます。情報漏えい防止に努め、広報誌やＩＰ告知端末を活用した普及啓発、人権学習公開講演も実施し、危険性周知に努めたいと考えます。

保健所問題

保健所市移管の
住民説明会を
業務内容が固ま
り次第行う

Q 鳥取市への保健所事業の移管が進められているが、どのように進んでいるのか。また今後の保健所活動について住民説明会を開催してほしい。

小林町長

A 保健所活動の市移
管に関しては、現行の
サービスと変わらない。
活動内容が固まった段
階で説明会を考えたい
と思います。



般

若桜鉄道

今期の決算損益はいくら

経常損失は3,498万円

Q 若桜鉄道の今期の決算ですが、平成21年に上下分離方式に移行し、その後、平成25年には1,079万円の赤字となった。平成27年度の営業損益をお尋ねします。

小林昌司町長

A 収益が1億7,950万円で、費用が2億1,448万円となり差引マイナス3,498万円の経常

損益となりますが、運行支援などの補助金により特別損益が6,824万円ありましたので、当期の損益は3,326万円の黒字となりました。しかし、繰越損益がマイナス4,817万円ありますので、差し引くと平成27年度の繰越損益はマイナス1,490万円となります。

また、利用者数は前期に比べて2万1,000人減の32万5,000人となっています。運輸収入については人口の自然減少や中学校通学定期の収入の減少などにより減っています。観光促進などにより営業外収益は増加しており、また、軽油価格の低下な

どによって実質的な損益は前期に比べて約500万円改善した。

Q 八頭町中学校のスクールバス導入により約600万円の利益減と、経営上大きな損失になった。スクールバス導入に際して事前の相談があったのか。

小林町長

A 事前相談はなく、決定後に初めて聞きました。

Q 3車両の改修に1億5,000万円を費やして、有名デザイナー・水戸岡先生に依頼することについて投資に見合った改修利益は見込めるのか。

小林町長

A 費用負担については、平成28年度の詳細設計等の3,000万円の地方創生交付金を、

活用しています。平成29年からは、毎年一両ずつ行う改修費用については、国補助金や過疎債を活用することにより、町は3両1,000万円程度の実質負担となる見込みです。効果としては、全国各地から、観光客の増加が期待でき、運賃収入だけでなく、弁当、お土産、グッズなどの経済効果がかなり見込めます。

Q 2040年の若桜町の人口推計は、1,570名となる。この将来の状況を考慮に入れると、そう遠くない時期に、若鉄の存続問題が浮上する可能性がある。経費負担の最小な運営方法。即ち、若桜・郡家間のみの運行汽車にする方法。それが若い人達に残す財産となるのでは。

小林町長

A 若桜鉄道の現在は郡家から鳥取駅間についてはJR西日本と乗り入れ協定を締結しており、車両利用料としてJR西日本から930万円の歳入があります。運営収入の約16・6%も占めており、若桜線乗り入れ分として370万円を支払っても、差し引き560万円の利益があるので、鳥取駅までの乗り入れについては、若桜鉄道としては、決してマイナス要素ではない。若桜鉄道沿線の方にとって郡家駅での乗り換えが必要になるなど利用しにくくなるのが想定され、存続につながる一番効果的な方法だと思っている。



岡田 一弥 議員

Q 一般質問 A

地域おこし協力隊

受け入れ体制の具体策は

移住定住センターで対応



山本 晴隆 議員

Q 定住させるための具体的なサポート体制と、別な職種を選ばされた場合の対応を伺います。

小林昌司町長

A 移住定住相談員と、支援員を置き、移住者の任期満了後を見据えながら、自立に向けた活動を、町民と一緒に応援していきたいと考えています。

Q 吉川YYCに地域おこし協力隊を配属して、そばの栽培から製造販売を行えば、定住に向けた一連の流れが出来ると思いますが所見を伺います。

見を伺います。

小林町長

A 地域おこし協力隊の、受け入れは、YYCや集落の皆様と、協議をし前向きに検討したい。

蕎麦、野菜作りなど、地域に根付く活動につながっていくことを期待しています。

スキー場

管理棟建替の
基本構想は

検討委員会の
審査を待つ

Q 樹氷スノーピア管理棟の地盤沈下に伴い、建て替え計画の具体的な位置関係など、基本構想を伺います。

構想を伺います。

小林町長

A 新たな施設の位置関係については、検討委員会における審理結果を踏まえて、最終的に判断したいと思っています。

観光振興

中心団体は

観光協会を
中心に

Q 観光協会と各団体との連携は、本町の観光振興を図るために、行政を含め、どの団体が中心になるかを明確にされた方が望ましいと思いますが。

と思いますが。

小林町長

A 多額の補助金を出している観光協会が中心と考えます。また、行政と観光協会が車の車輪となって引つ張っていくことが望ましいと思います。

は、ボランティア等を募集して、除草作業や草花を植栽すれば、費用も少なく公園も蘇ると思います。

小林町長

A 多くの公園をボランティアで管理する事は無理があり、町が適切に維持管理する責任もあります。ツツジの植え替えを担当課に指示をしています。施工方法等は検討中ですが、植え替えには、ボランティアの皆様がお願いができれば費用も少なく、みんなの公園という意識付けにもつながると思います。

△その他、駅周辺の埋め立てについて質問しました。▽

公園管理

町民で美化活動

管理を徹底する

Q 町内の公園の管理

樹氷スノーピア管理棟



平成28年度 議会報告会日程

町政に関する情報の提供に努め、議会に対する意見、町政に対する提言など、議員と町民が自由に情報交換、意見交換するために、次の日程で「議会報告会」を開催します。
 なお、日程を変更されたい場合は議会事務局（☎ 8 2 - 2 2 1 2）までご連絡ください。



川上議長

私たちが担当です



中尾 理明

1 班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
新 町	10月24日	月	午後7:00 ~ 9:00	新町公民館
中 町	10月25日	火	〃	中町公民館
農 人 町	10月26日	水	〃	農人町公民館
高 野	10月27日	木	〃	高野老人憩いの家
屋堂羅・口屋堂羅	10月28日	金	〃	屋堂羅公民館
内 町	10月31日	月	〃	内町公民館
諸 鹿	11月 1日	火	〃	諸鹿公民館
湯 原	11月 2日	水	〃	湯原公民館
大 炊	11月 4日	金	〃	大炊公民館
根 安	11月 7日	月	〃	根安公民館
吉 川	11月 8日	火	〃	吉川公民館
加 地	11月 9日	水	〃	加地公民館
落 折	11月10日	木	〃	落折公民館

私たちが担当です



山本 晴隆

2 班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
山 田 町	10月24日	月	午後7:00 ~ 9:00	山田町公民館
下 町	10月25日	火	〃	下町公民館
三 倉	10月26日	水	〃	三倉公民館
浅 井	10月27日	木	〃	浅井公民館
寺 所・馬 場	10月28日	金	〃	馬場公民館
赤 松	10月31日	月	〃	赤松公民館
香 田	11月 1日	火	〃	香田公民館
淵見・茗荷谷	11月 2日	水	〃	淵見公民館
岸 野	11月 4日	金	〃	岸野公民館
須 澄	11月 7日	月	〃	須澄公民館
栃 原	11月 8日	火	〃	栃原公民館
大 野	11月 9日	水	〃	大野公民館

私たちが担当です



上川 裕見子

3 班

集 落 名	月 日	曜日	時 間	場 所
上 町	10月24日	月	午後7:00 ~ 9:00	上町公民館
西 町	10月25日	火	〃	西町公民館
上 高 野	10月26日	水	〃	上高野公民館
若 葉 団 地	10月27日	木	〃	若葉団地集会所
あかまつ団地	10月28日	金	〃	あかまつ団地公民館
来 見 野	10月31日	月	〃	来見野公民館
長 砂	11月 1日	火	〃	長砂公民館
つ く 米	11月 2日	水	〃	つく米公民館
糸 白 見	11月 4日	金	〃	糸白見公民館
岩 屋 堂	11月 7日	月	〃	岩屋堂公民館
中 原	11月 8日	火	〃	中原公民館
小船・久曾木	11月 9日	水	〃	小船公民館

(注) この日程は、都合により変更されることもあります。



小林 誠



山本 安雄



前住 孝行



青木 一憲



岡田 一弥



山根 政彦

の検証結果

議会基本条例に基づき、平成27年度の議会及び議会活動の実績について検証しましたので概要を報告します。

議長 川上 守

1 検証方法

議会基本条例の各条項に基づいて以下の質問を設定し、各議員が「4 成果があった」「3 少し成果があった」「2 あまり成果がなかった」「1 成果がまったくなかった」の4段階で自己評価を行いました。

- | | |
|---|---|
| <p>問1 公正性及び透明性を確保するなど、町民に開かれた議会を目指しましたか。</p> <p>問2 町民の多様な意見を的確に把握し、町政に反映させる運営に努めましたか。</p> <p>問3 議会内での申し合わせ事項は、不断に見直しを行いましたか。</p> <p>問4 町民に対し積極的に議会の有する情報を発信し、説明責任を果たしましたか。</p> <p>問5 町民の専門的又は政策的識見等を議会の討議に反映させるよう努めましたか。</p> <p>問6 町民との意見交換の場を設け、町政に反映するように努めましたか。</p> <p>問7 議会審議における議員と町長等執行機関及びその職員との関係は、緊張関係の保持に努めましたか。</p> <p>問8 本会議における議員と町長等の質疑応答は、広く町政上の論点及び争点を明確にできましたか。</p> <p>問9 議員相互間の自由討議を中心に議論出来ましたか。</p> | <p>問10 議員、委員会及び町長提出議案並びに町民の提案に関する審議の結論は、議員相互間の議論を尽くし、合意形成に努めましたか。</p> <p>問11 町政に関する重要な政策及び課題に対しては、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得るため、政策討論会を開催しましたか。</p> <p>問12 議会は、情報技術の発達を踏まえた、多様な広報手段を活用することにより、多くの町民が議会と町政に関心を持つよう、議会広報活動に努めましたか。</p> <p>問13 町政の課題全般について、町民の意見を的確に把握するとともに、自己品格と能力を高める不断の研鑽によって、町民の代表としてふさわしい活動をしましたか。</p> <p>問14 議会の構成員として、一部団体及び地域代表にとらわれず、町民全体の福利向上を目指して活動しましたか。</p> <p>問15 政策立案能力を高め、政策の提言、提案の拡大に努めましたか。</p> |
|---|---|

2 検証結果

各議員の評価点は、最高が2.93点、最低が2.20点、平均2.55点となりました。

質問	議員名	川上 守	小林 誠	中尾理明	上川裕見子	山本晴隆	前住孝行	岡田一弥	山本安雄	山根政彦	青木一憲	27年度 平均	26年度 平均
問1		3	3	3	2	3	3	3	4	3	3	3.0	2.8
問2		3	3	2	3	3	4	2	2	3	3	2.8	2.8
問3		2	3	2	2	3	3	2	3	4	2	2.6	2.7
問4		2	4	3	2	2	3	3	3	2	3	2.7	2.6
問5		1	3	3	2	3	3	2	3	3	3	2.6	2.1
問6		3	3	3	3	1	3	3	2	2	2	2.5	2.5
問7		3	3	3	2	3	2	3	4	2	3	2.8	2.6
問8		2	2	3	3	3	3	2	4	2	2	2.6	2.6
問9		3	3	3	2	2	2	3	4	1	2	2.5	2.4
問10		3	3	3	2	3	3	3	3	2	3	2.8	2.6
問11		1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1.2	1.1
問12		2	3	3	1	2	1	3	2	2	3	2.2	2.1
問13		2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2.6	2.6
問14		3	3	3	3	3	2	3	3	2	2	2.7	2.8
問15		2	4	3	2	3	3	3	3	2	2	2.7	2.6
合 計		35	44	41	33	38	39	40	44	33	36	38.3	36.9
平 均		2.33	2.93	2.73	2.20	2.53	2.60	2.67	2.93	2.20	2.40	2.55	2.46

平成27年度

若桜町議会基本条例

検証方法は、議会基本条例の条項にそった設問に議員自らが点数を付ける得点方式でアンケートを行いました。個々の議員が1年間の総括として自己評価を行い、議員自身がどう考え、どう行動しているのかを数字で確認できるようにしています。

また、「議会活動について」「議員活動について」「日頃感じていること」の3項目をアンケートに加え、議員個々に回答をもとめました。

■ アンケート結果の総評

今年の平均点は、5点満点のうち2.55点で、昨年より0.09点上がりました。

設問1で点数が上がった要因は、議会報告会による議会活動の浸透が大きいと考えられます。1年に一度の開催ですが、議会報告会の場で住民の皆様から直接ご意見を聞ける事が大きいと思われる。

設問7では、予算・決算の特別委員会、各常任委員会での議論の活発化や町政への課題提起が増えた事が挙げられると考えられます。

設問10では、町内にある資源の活用提案や議会報告会での意見・要望に対し回答を行った事によるものと考えられます。

■ 「議会活動について」の回答意見

○委員会における協議や議論が少なく、もっと活発であるべきだ。

○議員個々の資質向上、政策立案能力を高めるためにも、外部講師等を招き研修が必要である。

○特別委員会は、開催頻度が少なく、設置目的を再度確認し活性化すべきである。

■ 「議員活動について」の回答意見

○様々な行事・イベントに参加し様子を把握するなど、参加者の意見・思いを聞き町政に生かす努力が必要である。

○日頃から、問題意識を持ち、常に住民目線で行政に意見を言っていく必要がある。

■ 「日頃感じていること」の回答意見

○議員として、行動や発言に責任を持つこと。

○議員一人ひとりの意見を大切にし、思いやりを持った対応が必要である。

○若桜町議会議員政治倫理に関する決議を議員全体で再度確認すべきである。

ま と め

総体的には、少し平均点が上がっていますが、議員個々の思いが強く、議会全体として統一した意見のまとまりにはなっていないと考えます。個々の意見を通そうとするのであれば、他の議員に対して理解を得られる努力が必要ではないかと考えます。

今回のアンケート結果は、議員一人ひとりの考えかたを理解して頂くために議員名を掲載しています。今後、議員がどのようにスキルアップして行くのか期待して頂きたいと思います。

所管施設の調査

総務産業常任委員会

4月12日・5月11日

産業観光課

(1) 樹氷スノーピアスキー場

【意見】管理棟は地盤沈下により、さらに傾きが増している。早期の建替えが必要だが、現在の位置では入場者に不便である。建替え場所の検討も必要である。

(2) 氷ノ山キャンプ場

【意見】バンガローの屋根に一部錆びが出ている。早急に改修が必要である。

(3) わかさ道の駅 [桜ん坊]

【意見】町独自の特産品が必要である。

(4) 味工房

【意見】加工室の利用状況は多いが、研修室と調理実習室の活用が少ない。

(5) わかさ29工房 (猪鹿庵)

【意見】民間での指定管理になり、積極的な運営が期待される。

【まとめ】・(一財)若桜町観光開発事業団については、経営診断の結果や今後の体制づくりに注視していきたい。

- ・(有)若桜農林振興についても、赤字体質から脱却できていない状況である。
- ・若桜町観光開発事業団と若桜農林振興について、経営規模の違いもあり、それぞれに課題があり、方針転換及び組織改革の必要性を感じた。

(6) 林道大通中江線、路肩修繕箇所

【意見】一部路肩が崩れており、早急に修繕が必要である。

(7) 中江町有林

【説明】国の「林業再生プラン」等で、作業道の整備はかなり進んでいる。平成27年度の搬出材については、標高が高いことや積雪量が多いため、根曲がりしている杉が多く見られ、売却単価が低い。



中江町有林

(8) 林道諸鹿屋堂羅線 (起点)

【説明】橋の補強が必要である。

【意見】林道新設には多額の費用が予想され、町の負担も大きい。森林整備計画全体の進捗状況や、財政も考慮しながら計画していただきたい。



樹氷スノーピア管理棟

■ 6月定例会までの委員会活動報告 ■

教育民生常任委員会

4月22日・5月13日

町民福祉課

(1) 若桜町地域福祉センター・ドリーミー

【説明】・2階風呂の浴槽タイルが剥がれ修理が必要である。
・冷温水器設備等は20数年経過しており更新の検討が必要である。

【意見】大屋根の裏の壁が劣化しており、屋根周りの検査が必要である。

(2) 自立支援ハウス

【意見】現在、利用されていない。早急に利用方法の検討が必要である。

(3) わかさこども園

【説明】0歳児4名入園予定(5月13日現在)で保育士確保が急務である。

【意見】地方創生重点施策として幼児受け入れへ万全をつくすことが必要である。

その他 ゆはら温泉、ストックヤード、寄来屋を調査



ドリーミーの屋根裏

教育委員会



外壁劣化が激しい若桜町公民館

(1) 若桜町公民館

【説明】雨漏り、外壁の剥離、劣化が激しい。

【意見】災害時の避難所でもあり、改修を急ぐ。

(2) 若桜学園

【説明】体育館トイレ付近にシロアリが発生し駆除が必要。

その他 わかさ生涯学習情報館、第1町民体育館、第2町民体育館、池田分館、ふれあい交流センター、若桜郷土文化の里、わかさ温水プールを調査

町土整備課

(1) 町営住宅(新築した若葉団地2棟(4戸))

【説明】工事は最終段階で5月末頃入居選考し、6月中に入居予定。

(2) 若桜浄化センター

【意見】排水処理の電気制御装置他長寿命化工事の早期着手が必要である。

(3) 中之島公園

【意見】駐車場付近の花壇に雑草が繁茂。随時草刈ができるような改善策が必要である。

その他 農業集落排水施設(吉川)を調査



若桜浄化センター(電気制御装置)

わたしの想い



このコーナーでは、議会、議員や議会だより等に関わる町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。



きっかけは「人」

神谷 朱音さん
(上 町)

私が若桜町に初めて来たのは、大学1年の時のサークル活動です。そこでの出会いをきっかけに、若桜町の山で活動しているグループやスキー場・響の森など氷ノ山で働いている方々と知り合うことが出来ました。スキーシーズンが来るたびに声をかけて下さる宿の人、顔を見るたびに声をかけて下さるリフト乗り場のおじさん、山へ行くぞと毎回連絡をくれるお父さんみたいな人。そんな人たちのおかげか、気が付いたら何度も若桜町へ足を運び、卒業する頃には若桜町がとても馴染み深い地域となっていました。

若桜町には素晴らしい自然や歴史がありますが、私が思う若桜町の良いところは、やはり『人』です。若桜町には優しくて面倒見の良い人、思いの強い人がとてもたくさんいるように感じています。私が移住してきたことも若桜町で出逢った皆さんとのご縁のおかげだと思います。そんなご縁に感謝しながら、地域おこし協力隊として、地域の方々と一緒になって若桜町を盛り上げていけるように頑張りたいと思っています。

「若桜町といえばジビエ」を目指したい

阿部 宏美さん
(上 町)

4月に若桜町へ来て2ヶ月が過ぎました。現在、私は「わかさ29工房」さんにお世話になっています。鹿の解体をしながら、7月末の狩猟免許試験に向けて準備をしています。毎日鹿を持ってきてくださる猟師さん方や、解体を教えていただく中では驚きと発見の連続です。慣れない私にも優しくしていただいて、本当にありがたいです。解体の技術はまだまだですが、これから上達していきたいです。

そしてゆくゆくは、シカとイノシシを食の面で活用する方法を見つけていきたいと考えています。若桜町の更なる魅力を知ってもらうために、ジビエをもっと食べやすい、扱いやすい方法を考えたいです。有害鳥獣として駆除対象のシカとイノシシですが、食べて活用することで、輸入などに頼りすぎない、これからの時代に向けたライフスタイルの提案もできたらいいな、とも思っています。

まだまだ慣れないことも多く、色々な方にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。どこかで見かけた際は、声をかけていただければ幸いです。

意見・写真をお寄せください

メール gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX 0858(82)2222

あとがき

今年も長雨が続き、農作物の生育も心配される状況です。

今回の議会だよりは、6月定例議会の補正予算、各議案の審査結果、定例常任委員会での意見、10月後半からの議会報告会の日程、班分を掲載しています。皆様の参加をお願いします。また、わたしの想いに、4月から若桜町に地域協力隊として着任した2人の女性の方の想いも掲載しております。見かけられたら、気軽に声をかけてあげてください。定住に繋がることを期待しています。読後の感想、ご意見をお聞かせください。

(記 小林 誠)

議会だより調査特別委員会

委員長 青木 一憲

副委員長 山本 安雄

委員 岡田 一弥

委員 小林 誠

委員 山根 政彦

議長 川上 守